

かいぞう

地区広報

市制 100周年を記念して
平成9年8月1日制作
地域の自然をうたいあげる

海蔵音頭

吉仙江子
博義豊幸
藤永山藤
伊松深近
詞曲付
振作振



ハッピー みんなで歌おう みんなで踊ろう

海蔵音頭 海蔵音頭 海蔵音頭

一、ハッピー 春は桜の 吹雪の舞に

赤いぼんぼり 風わたる

霞む花びら ハラハラリ

海蔵よいどこ 海蔵よいどこ ソウヤンカー

二、ハッピー 夏は音頭の花咲き乱れ

水に遊ぶ 鷺の群れ

山の流れも サラサラリ

海蔵よいどこ 海蔵よいどこ ソウヤンカー



三、ハッピー 秋はイヌナシ アイナシ可愛の

枝のつばねに 実が遊ぶ

風にゆられて ユラユラユラリ

海蔵よいどこ 海蔵よいどこ

ソウヤンカー

四、ハッピー 冬は萬古の 焼く陶土売り

熱い心の 花が咲く

窯の炎は キラキラリ

海蔵よいどこ 海蔵よいどこ

ソウヤンカー

海蔵地区の人口 総数11,438人 男5,746人 女5,692人 世帯数4,017 (2月末現在)

編集・発行 海蔵地区社会福祉協議会・海蔵地区市民センター 印刷 北勢印刷(有)

四日市市制施行 100 周年を記念して

すてき、海蔵いつまでも

平成九年度は、四日市市が明治三十年全国で四十五番目に市制を施行され、ちょうど百年となり昨年八月一日の四日市ドームにおけるオープニングセレモニーを皮切りに、これを記念するとともに次の百年に向けて、各地区ごとに多様な記念行事が展開されました。

私たちの海蔵地区においても、こどもたちによる『海蔵エコクラブ』の設立、『堀川菖蒲園』のオープン、『海蔵マップ』の発行、公募による『海蔵音頭』の制作、協賛『文化祭』の開催、『萬古焼ミニユメ

“萬古の塔”ができた！

阿倉川駅前に「萬古の塔」が完成しましたが、地域のみなさんはもう見ていただきましたでしょうか！

駅に降り立つ人びとに、ここが萬古焼の産地であることを呼びかけるように凛とした姿で建っています。

塔の象徴は、悠久なる自然を形象化し、三角柱の塔に太陽と月を配し、白と青の陶板は大気を、緑は森や緑地を、そして黄と赤は光を表わし、茶褐色は大地を意味するものと言われています。

この地域周辺は、萬古焼の発祥の地であり、その創始者沼波弄山が、萬古に変わらざる盛せよと、萬古不易の印を押した当時に想いを馳せます。

四日市市制施行百周年の記念事業の一環として建てられ、昨年十月十八日実施の環境フォーラムにおいて、午後の交流会で除

ント』の設置そしてフィナーレとして海蔵川の自然とともにをテーマに「地球市民四日市環境フォーラム・海蔵地区分科会」が開催されました。

記念すべきこの百年を次の百年にいついつまでもすばらしい地区であることが受け継がれていくことを希望・祈念いたします。



幕式が行われました。

地域社会づくり推進委員会において、ここ数年「焼きもののおおりと花いっぱい」を、街づくりの核として進められています。この「萬古の塔」がいつまでも地域の象徴となることと願っています。



堀川菖蒲園オープン

～三ツ谷地内



環境庁の「身近な水辺環境再生事業」という補助事業により、立派な『堀川菖蒲園』が完成しました。

十三品種、千八百株の菖蒲と九十株のアジサイが、すべて奉仕で植えつけられている。でも今後がたいへん、管理はすべて地元がするという条件で、日照りが続けば水やり、草取りから施肥・消毒まで、専門家の指導を受け各種団体の協力や住民の方々の奉仕で維持されます。

六月八日、むし暑い日に、関係者一同と幼稚園児の参加のもとにオープン行事が行われました。

この菖蒲園が桜に次ぐ第二の誇れる名所になるよう地域ぐるみで世話をし、見事な花が咲き、みんなで楽しめるよう可愛がついていきましょう。

海蔵地区の100を記念して

は、百に因む諺
 ・百戦百勝は善の善なる者にあらず
 ・百日の説法屁一つ
 ・百日の苦楽他人に因る
 ・百聞は一見にしかず
 ・百里を行く者は九十里を半ばとす
 ・百人の親戚より一人の親友
 ・一人の親友より一匹の蜜蜂
 ・などなど
 ・と数多く列挙できるが、少なくとも海蔵地区では、次の百年にむけて、
 ・百川は海を学びて海に至る
 ・百年河清を待つ
 ・ために、更に
 ・百尺竿頭一步を進めようではありませんか。

100を記念して

1

海蔵地区 百年史

年号	西暦	政治・経済	産業	施設	文化	その時社会では	
明治3	1870		末永村水車に開窯(四日市)	万古の起こり		人力車の發明	
8	1875			五カ村組合立(海蔵小)設立		大日本帝国憲法発布	
22	1889	三重郡海蔵村誕生(東阿倉川、三ツ谷、野田、末永、西阿倉川)					
30	1897	8/1四日市市制施行(全国45番目の市制)		電気供給開始(四日市市)			
41	1908				いぬなし、あいなし命名		
45	1912	大正天皇が演習統監の為、垂坂山に登る(御駐蹕碑)		ガス供給開始(四日市市)			
大正1	1912		大正焼き發明→万古の量産				
3	1914					第一次世界大戦	
12	1923		耕地整理(東阿倉川・西阿倉川)				
昭和4	1929	伊勢電・四日市、桑名間開通	万古の發展(問屋の全国行商)			トーキ初輸入	
5	1930	海蔵村が四日市市と合併					
20	1945	四日市空襲(被災者47,153名、死者736名、住宅全焼1,252戸)				原爆投下 終戦	
21	1946			朝鮮初中級学校創立		日本国憲法発布	
22	1947			山手中学校、海蔵幼稚園創立		学校6・3・3制実施	
24	1949			海蔵小学校として再発足			
26	1951		トンネル窯→量産体制	上水道供給開始(末永、本郷)			
27	1952			国道一号舗装国道完成		(NHK)TV放送開始	
28	1953	海蔵川改修工事始まる		桜の植樹		皇太子ご成婚(平成天皇)	
34	1959	伊勢湾台風					
39	1964				海蔵保育園開園		東京オリンピック
42	1967				学童保育所開設		
45	1970				大谷台小学校創立		大阪万国博覧会
50	1975			いぬなし保存会設立		札幌冬季オリンピック	
56	1981	下水道供用開始(末永、本郷)		わかば作業所設立			
平成7	1995			しらさぎ橋開通			
8	1996			YMCA在宅介護センター設立			
9	1997	四日市市制施行100年		堀川菖蒲園開園			
				萬古焼モニュメント設置			

100を記念して

2

百年前の物価あれこれ

公共料金	嗜好品	食料品	その他
ハガキ 1銭5厘 手紙 3銭 電話(公衆) 10銭 新聞 28銭/月 鉄道 3円85銭 (東京~大阪) ガス 8銭5厘 (都市ガス1㎡) 水道 5円 (1戸5人まで1年間)	日本酒 25銭 ビール 14銭 コーヒ 2銭 ラムネ 3銭 アイスクリーム 15銭	米(10kg) 1円12銭 砂糖(1kg) 14銭 塩(1kg) 7銭 牛肉 100g 5銭 鶏肉 100g 15銭 食パン 1枚 6銭 あんパン 1銭 ジャムパン 2銭 かけそば 1銭8厘	〈賃金〉公務員 50円/月 小学校教員 10~13円/月 国会議員 2000円/月 家賃 75銭 理髪(大人) 8銭 銭湯(大人) 2銭 映画 20銭



100を記念して 3 なんでも 100コーナー



集めに集めた！私のお宝～100にちなんで～

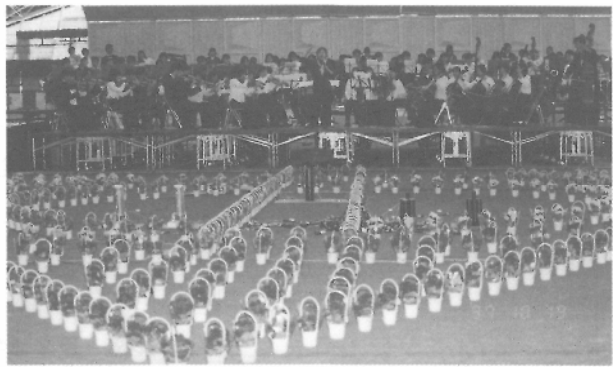
①収集歴 ②収集のきっかけ ③全部でどのくらい

みゆきヶ丘 森崎武徳さん 土鈴 いろいろ ①30年 ②素朴な音色に魅せられて ③500～600コ	みゆきヶ丘 大河平敏子さん 思い出の栓抜き ①15年以上 ②旅の思い出に～栓抜きならユニークかなと ③150コ以上	本郷町 今村 渉さん 珍しい新聞 ①40年以上 ②昔の思い出になるので古物収集は大好き ③300～400枚
西阿倉川 伊藤博吉さん 今では貴重な国鉄スタンプ ①S8～12年に収集 ②若い頃の旅の思い出です ③200点以上	清水町 加納重男さん 私の足跡～搭乗券 ①20年 ②20年間の国内・海外の出張の記念に ③500枚	西阿倉川 野崎多実子さん 100年を経た人形達 ①15年 ②本物の素晴らしさにひかれて…人形好き ③19体

当日の内容は、卒業生でもある井上哲夫四日市市長の挨拶、生徒有志による万古太鼓の披露、垂坂の獅子舞、朝鮮初中級学校の生徒の歌と鈴を使い喜びを表現する踊り、三重大学オーケストラと山手中吹奏学部の演奏と盛りたくさんでした。

最後は、生徒全員合唱「夢の世界を」で幕を閉じました。

どのステージも素晴らしく、生徒一人ひとりの胸に残ることと思います。そして、五十周年を記念して、お世話になった皆様や卒業生の方々の祝辞、思い出の写真などを載せた記念誌を発行し、関係各位と生徒全員に配布されました。五十周年を一つの節目とし、山手中学校が益々発展してほしいと願っています。



去る十月十九日(日)に、山手中学校創立五十周年記念式典が四日市ドームで開催されました。会場には、生徒の作品とPTAの万古焼・手芸作品の展示コーナーを設け、ステージの前には、リーグスベゴニアの花で校章を作り華やかさを添えました。

山手中学校創立50周年

H9.10.19



海蔵幼稚園

みんなで迎えた
50年のおたんじょう日



五十周年記念式典が、六月二十二日幼稚園ホールに於て行われました。

まず、在園児と新たに一年生になった卒園児が順次、実行委員お手製の紙で作ったケーキ型に子供たちが作った花とろうそくを飾り、そのあと、みんなが歌をうたうたって来賓の方々や保護者に披露されました。

第二部では、園庭にて記念ミニイベントで「わくわくハウス」の除幕式。

ハウスの中には、床下にタイムカプセル(子供たちの作品や声を収録したCDなど)を収納し、二〇〇七年四月一日に開封予定です。

周辺には、実行委員の方々の手により張られた芝生のうえに、自治会から贈られた木製ベンチが置かれています。

アトラクションでは、山手中学校吹奏学部の演奏と、コマおじさんの「コマのサーカス」をみせていただき幕を閉じました。

半世紀もの歴史を育み、二十一世紀に向けて新たな一歩を踏み出すにふさわしい記念式典でした。

超高齢社会の到来に考える

老いはすべての人に平等に……

海蔵地区
同和教育推進
協議会

超高齢社会の到来が目前に迫り行政においても、保健、医療、福祉面の対策が講じられつつあり、これに対する関心が高まっており、一口に高齢者問題と言ってもその内容は多岐に亘り、その対応には住民自体がかかわらなければ到底乗り切れない面が考えられます。

この問題を整理してみると、
一、所得保障の問題
二、疾病、障害に対する医療・保健・福祉などのサービスの問題
三、生きがいの問題

となり、重要な問題は、二の保健・医療・福祉などのサービスをどのようにするかの問題であると思います。

私たちの一生において、避けることのできない最大の課題は、誰もが確実に老いるということである。老いれば当然身体機能が低下し、それに伴う疾病、障害が起こる可能性が高まる。これらの健康の問題であって、多くの人が「寝たきり」と「痴呆」ではないでしょうか。

自分の意志ではどうするこ

とも出来ず、他の人の介護を必要とする状況に直面するわけです。行政や家族では介護が仕切れない状況になる場合、どう対応すればよいのだろうか。

ところで、昨年行った「高齢者の人権を考える」集会でのアンケートには、「老後でも自立して生活したい」「介護を受けるなら身内の者に」「住み慣れた地域で安心して老後を迎えたい」などの希望が多く見られた。またこれに対応する意見として、一、家族による介護が望めなくなった場合の地域福祉のあり方。

二、地域で支え合うという意見に賛成であるが、このためには地域における人のつながりはよいのか。

三、自治会、組単位の助け合いが可能な街づくりが大切と思うが、その面はうまく進むのか。

など、行政に頼る福祉でなく住民参加、むしろ住民主体の福祉でなければ進めない面が強く出されたのです。

誰しもが寝たきりや、痴呆にはなりたくないし、人生の最後を花で飾るように終えたい気持はよくわかります。しかし、現

在における身近な現象はどうでしょう。この地域に住んでいてよかつたと思えるよう、またそれに少しでも近づかために、

一、老いはすべての人に平等に訪れます。若い世帯の方も今からこの問題を真剣に考えてください。

二、住民参加の地域福祉を画餅でなく、実現できるよう協力してください。

三、高齢者のみでなく、すべての人に優しい環境づくり、街づくりにご協力ください。

以上、いろいろ困難はあるにしても、確実に推移する超高齢化社会に対して、いたずらに不安をつのらせるのではなく、希望の持てる未来を想定し、明るい展望を持ってよりよい地域づくり、地域福祉の構築に努力しようではありませんか。



看病する人 される人



私の妻は「パーキンソン病」です。平成二年四月より手の震えと歩行困難となり、現在は幻覚症状すらおこすようになってきました。もちろんその間、金銭を問わず幾多の病院「整体クリニック」「針灸」と連れていきました。

戦前戦後の苦難を乗り越えて、息子の家も建て、末娘も大学生になり、別居し、これから二人楽しく老いの人生を暮らすことを話し合っていた矢先でした。

私が家事一切と介護もすることになりました。でも決してつらいとは思ったことはなく、「人成す事は吾も成す」と、月日の介護をして来ましたが、妹

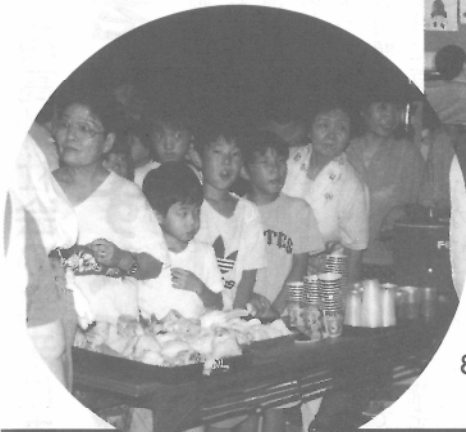
弟たちが余りにも私の体を心配するので意を決し市の福祉課の力を借り「YMCA在宅介護センター」のサービスを利用します。家までの送迎、入浴、昼食、老人同士のはげまし、リハビリ的娯楽など、職員とともに遊ぶ。職責といえど、常に心配りしていただき、妻の顔も明るさを増し、近頃では車の音を聞くと迎えと勘違いし、嬉しい顔になる程です。

近所の方々の好意と支援に、また福祉に携わる皆さんに感謝しつつ妻と共に今日という日がある限り明るく生きていこうと思っております。

写真、記事YMCA在宅介護センターより



11月29日
青少協研修会



8月30日
防災訓練



8月10日 福祉体験 手話教室



年間地区行事



11月30日 ウォークラリー大会



10月18・19日 文化祭



10月19日 一人暮らし老人招待席



餅つき

獅子舞

100周年記念

〈地区イベント〉

地球市民四日市環境フォーラム 海蔵地区分科会

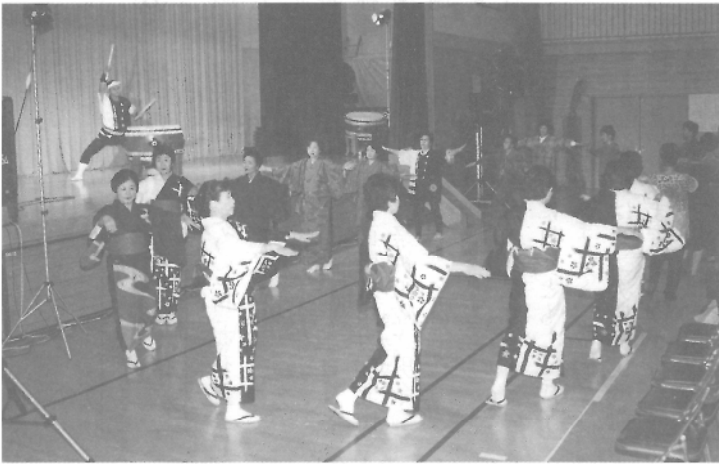
こけしゆきくんとくんも参加



レセプション会場



海蔵音頭



海蔵音頭制作者表彰



「萬古の塔」除幕式

地域ぐるみで守ろう… こどもをまもるいえ



警察のシンボルマーク「ミーポくん」が目印です

近年、子供たちが学校の登下校時や放課後に「痴漢、たかり、誘惑未遂などの行為」が各地で発生しています。市より子供たちが事件に遭遇したときに、駆け込み一時的に保護するための『こどもをまもるいえ』の設置が計画されました。

海蔵地区においても、青少年育成協議会を中心として、小学校PTA、子供会育成者連絡協議会の方々の推進運動により、一般家庭、商店、事業所などのご理解を得て、地区内二百箇所余りの場所に『こどもをまもるいえ』が設置されました。

地区内の方々の暖かい気持ちや子供たちを事故から守る運動につながっていくものと思います。

「海蔵の寺社」シリーズ その⑧ 「御厨飽良河神社」

西阿倉川字北山、市立海蔵保育園の西に鎮座します御厨飽良河神社を紹介します。

御厨とは、古来伊勢神宮に五穀(米、麦、粟、きび、豆類)を貢納する荘園であったことを意味します。

祭神は、素盞鳴命・天児屋根命・大山祇命で、喜多嶋弘垂氏が宮司であります。

当神社は、明治四〇年に西阿倉川所在の多くの神社を合祀したものです。

浄覚寺の由緒には左記の木札があります。

「観請由來は午頭天王竺主貴常を以て海蔵山浄覚寺三宝の守護神也」

とあります。慶長六(一六〇一)年村民が尊崇して産生神として現在の地に祀り明治七年北山社と改称しました。北山社は元來館氏の守護神でしたが、村民の尊崇を受け

て西阿倉川の氏神となったものと思われれます。また明治二二年記録の社伝には、

「御厨飽良河神社の由来

明治二十一年戊子年四月二十三日社名改称願、伊勢国三重郡西阿倉川村字北山鎮座、村社北山神社、祭神須佐之男命御厨飽良河神社」

と改称した様子がうかがわれます。

三月の御鎌祭り、七月の夏祭り、十月の大祭には幟を立て提灯に灯がともし、氏子によって盛大な祭礼が営まれています。

なお、十月の大祭には第二次世界大戦前やその戦後間もない頃まで青年団が行っていた伝統ある獅子舞も最近では、保存会の皆様により引き継がれ、奉納されています。

私たちの街ではこんなことやっています

西阿倉川老人クラブ(若生会)は廃品回収に汗かかれています。

十五年もの長い間、継承されている西阿倉川老人クラブの廃品回収の様子を一度見たいものだと思っていたところ、はからずも会長さんからお知らせで取材に伺うことができました。



広い倉庫に山と積まれた廃品を会長さんの指揮により集会所の広場まで出され、トラックの積み込み作業は全員で手送り。

年齢を感じさせないパワーには驚かされました。

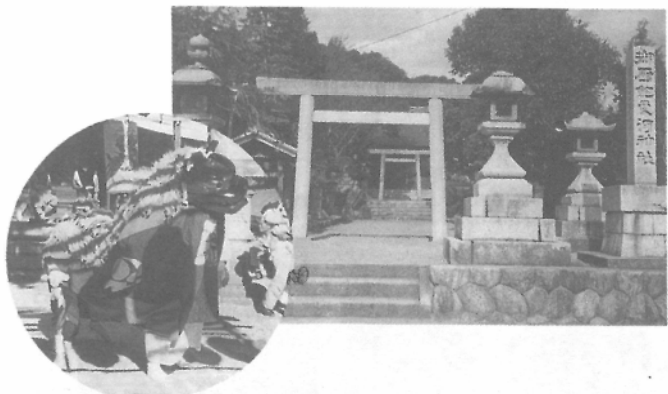
会員が持ち寄る廃品は、ダンボ

ール・新聞・雑誌・布・アルミ缶など。

年五、六回の回収。一回の回収量は約四トンほどとなります。

地域社会において、環境保全のキーワードとなる「ごみ減量とリサイクル活動」に、積極的に参加するシルバーパーパワーは、高齢化社会に求められている未来像ではないでしょうか。

活動に対して、「みんなの意気込みが一つになるときに、感謝の気持ちと生きがいを感じます」と会長さんのお言葉でした。



編集後記

市制百周年をテーマとして、とらえてみました。百年前の人々が、現在の私たちの生活環境を想像することはとても出来なかったことでしょう。明治以降の社会変貌はめまぐるしく、私たちにとても百年後の社会は、どのようなものか夢物語でしかありません。

しかし、人間の優しさ、思いやりだけは、いつまでも変わらぬ素晴らしいものです。

広報部員一同